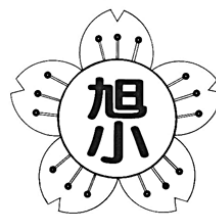


旭小学校

かわら版

学校通信

- ・かしこい子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



令

和 2 年 6 月 1 日 号

学校が再開します

旭小の感染対策

新型コロナウイルス感染防止のため、4月10日から休校しておりましたが、いよいよ再開となりました。休校中も希望登校する児童がおりましたが、ほぼ全校の児童が登校するのは、約2ヶ月ぶりです。元気に登校する児童を迎え学校は子どもがあつてのものだと強く実感しました。

再開に向けて重要なことは、次の2点です。

感染源とならない

徹底した感染対策

矛盾

通常の学校生活の再開

日常生活，学校生活を行う

他人と極力接触しない
さらに 矛盾することも

熱中症の予防

友だちとの交流をとおして学ぶ
学校の重要な目的の一つ

友だちと会話をしたり，一緒に遊んだりすることで他者との関わりや学び方を身につける。

感染を気にするあまり、極度にウイルスを恐れ、ムリに行動を抑制することは、ストレスの原因となり、子どもたちの健全な人格形成に悪影響を及ぼします。ですから、感染を恐れて特別なガマンを強いるということではありません。「生活様式」ですから、日常における当たり前の生活において、感染を抑える生活習慣です。

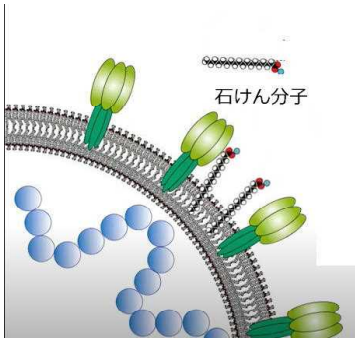
基本策は

ウイルスを教室内に持ち込まない

旭小では、①**教室に入る前に手洗いを徹底し、習慣にします。**

密集を避けるため、学年ごとに手洗いの場所を決め水道あたりの方数を制限します。外で遊んだ後、食事前、共有部分に触れた後、トイレの後など必ず手洗いをすることを徹底します。

なぜ手洗いが有効なのか？



ウイルスは、油の膜で包まれています。石けんは、この油の間に入り込んで油の膜を切る作用があります。膜が破られるとウイルスは、破壊されて存在できません。ウイルスは石けんで洗えば、簡単に壊すことができるのです。どこかに付着しても体内に入る前に壊せば、感染しません。

また、細胞内に入り込むための突起は、アルコールで壊すことができます。アルコールは、内部の遺伝情報も壊します。

ウイルスは石けんとアルコールで破壊できる

②必ず全員マスクを着用します。

③教室の机は1mを目安に座席を離します。

ウイルスは、飛沫(口から出る唾液等)によって運ばれ他人に移動するか、ウイルスのついた部分が他者の体に触れることで感染します。マスクで飛沫感染を防ぎ、離れることで接触感染を防ぎます。

熱中症予防とマスクの衛生保持のために屋外で運動をするときにはマスクを外し個人用のビニル袋に保管します。屋外では2m以上離れます。

(厚労省「新型コロナウイルスを想定した『新しい生活様式』」における熱中症予防)

④共有部分は、定期的に職員がアルコール消毒を行います。

ウイルスと共存しながら楽しく学校生活を送るための 新たな生活様式

このような対策をとることで、校内にウイルスを持ち込まない生活を習慣化しながら学校生活を行います。子どもたちは、濃厚接触を避けながら、友だちと会話したり、遊んだりしてたのしい日常生活を過ごします。これが「新たな生活様式」です。

子どもたちにとって、「新たな生活様式」となるためには、一つ一つの行動を強制、禁止することではなく、感染を防ぎ、互いの安全を守るための基本的な考え方を身につけてもらうことが大切です。「もしもウイルスがあったとしたら、自分と仲間を守るためにどう行動したら良いか」を考えられるイメージを育てることが重要な教育だと考えます。

ご家庭へのお願い

- 毎朝お子さんの健康状態を確認し「健康観察表」と「検温確認表」への記録をお願いします。 → 感染の可能性のある人を校内に入れない
- 必ずマスクを着用させてください。余裕がありましたら、予備のマスクももたせてください。
- 体調が優れない場合や不安な場合には、登校を見合わせてください。
- 当面の間、保護者は教室内への入室はご遠慮ください。玄関のインターホンで職員室に連絡してください。